

「東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会」主催

第8回公開シンポジウム（東京開催）

「中国・北朝鮮脅威論の虚構性を問う

—東アジアに再び戦火を招かないために！—

「東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会」主催の第8回目の公開シンポジウムを下記のような形で開催します。共通テーマは、「中国・北朝鮮脅威論の虚構性を問う—東アジアに再び戦火を招かないために！」です。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

期 日：2017年 **11**月**4**（土）14：00～17：30（開場13：30）

会 場：青山学院大学総研ビル 12 階、大会議室

資料代：500円（非会員のみ） ※事前申し込みは不要です。

●プログラム●

（共同代表からの開会の挨拶）14：00～14：10 司会者：木村 朗（鹿児島大学）

I 開会のご挨拶(14:10～14:20)※10分

西川 潤（早稲田大学名誉教授、本研究会顧問）

II 基調講演と個別報告(14:20～15:20)

【基調講演】※40分

孫崎 享（元外務省情報局長、本研究会顧問）「東アジアの危機：制裁・軍事・対話の選択」

【第一報告】※20分

矢吹 晋（横浜市立大学名誉教授）「南シナ海領土紛争と米中関係」

休 憩（15:20～15:30）

【第二報告】※20分

岡田 充（ジャーナリスト、元共同通信記者）

「“敵”（「脅威」）はいかにしてつくられるか～権力監視やめ政府と一体化するメディア」

【第三報告】※20分

伊波洋一（参議院議員）「中国・北朝鮮脅威論の内実を問う—沖縄を再び戦場にしないために」

III 質疑討論(16:10～17:00)

フロアから ※50分

IV 閉会のご挨拶とアピール(17:10～17:25)※15分

羽場久美子（青山学院大学）「東アジアで6者協議の再開を、政府レベルではなく、学術レベルで再構築しよう—東アジアにおける安全保障の制度化を」

【事務局】 ご不明な点等がございましたら以下までお願いいたします。

羽場久美子（青山学院大学） kumihaba@sipeb.aoyama.ac.jp

または木村朗（鹿児島大学） kimura@leh.kagoshima-u.ac.jp